



児童発達支援センター のぞみ園

理念

「今の時を喜びと感謝を持って生きる」

～こどもたち一人ひとりの育ちと

親子の願いに寄り添う支援～

支援方針

「ひとりひとりが豊かに育つ療育を目指す」

- ① 日常生活を通して生きていく力をつける
- ② 豊かな経験の中で遊ぶ力をつける
- ③ 人とかかわりを学び社会性を身に着ける
- ④ 自己肯定感を高め意欲的に取り組む力をつける

作成日:令和8年3月31日

サービス提供時間

月曜～金曜日:8時15分～12時30分
※お昼寝対象児のみ、以下の時間までになります。
(月・火・木・金)14時30分まで
【土・日・祝日・年末年始休み】
※年度末は準備期間のため数日休みあり

送迎について

保育所・ご自宅・事業所間の送迎可
※状況によっては、ご相談させていただく
事もあります

運動・感覚

- ・身体を大きく使った遊びを楽しむことで運動機能を養います(外遊び、サーキット等)
- ・感覚統合遊びの中で様々な感覚の機能を高めます(スイング・スクーターボード・トランポリン等)
- ・個別活動や感覚遊びを取り入れ手先の操作性を高めます(小麦粉粘土遊び、砂泥遊び、絵の具遊び、お人形のボタンかけ、ひも通しなど)

言語・コミュニケーション

- ・ふれあいあそびを取り入れ、信頼関係を作ります
- ・様々な遊びを通して言葉の土台を作りのお手伝いをします
- ・生活の中で発表する場を作り、話す事や聞く力を養います
- ・本や絵カードで自分の気持ちに気付き、表現方法を身に付けられるよう支援します

健康・生活

- ・来所時に検温を実施して健康状態の把握をします
- ・給食の提供やクッキング活動を取り入れることで、食育に取り組みます
- ・基本的な日常生活動作や自立生活の定着に着目した支援計画を作成し、活動の計画を実施します
- ・毎月の身体測定で成長確認を実施します

認知・行動

- ・こどもの心の声に耳を傾け「やってみたい」「楽しい」と成功体験になるような活動を設定します
- ・絵本や手あそびうたを実体験につなげ、分かることが増えるように支援します
- ・絵本の世界やごっこ遊びを通してイメージする力を身に付けます
- ・リズム遊びで動きをコントロールする力につなげるよう支援します

人間関係・社会性

- ・大人やお友だちと過ごす中で人と関わることの心地よさや楽しさを感じられるようにします
- ・社会の中で必要なやりとりする力やたくましい力、人と関わる力を身に付けます
- ・絵本の世界やごっこ遊びを通してイメージする力を身に付けます

家族支援

～家族と共に歩んでいく～

- ・保護者懇談会実施
- ・研修会実施
- ・親子行事、親子登園の実施
- ・定期的な面談実施



移行支援

～社会参加の応援団～

- ・保育所等訪問の実施
- ・担当者会議の参加
- ・保育所(園)、幼稚園、小学校等見学同行



地域支援

～地域と共に歩みはぐくむ～

- ・のぞみ園親子教室「はっぴい」開催
- ・市町村の子育て相談のお手伝い
- ・地域行事への参加、施設提供
- ・災害の際の避難所受け入れ



職員の質の向上

～『常に学びを』の気持ちを胸に～

- ・防災・感染訓練勉強会
- ・事例検討会
- ・各種外部研修参加



主な行事

春:ひな祭り、開始式、親子遠足
夏:プール遊び、川遊び、夏祭り
秋:運動会、お買い物ごっこ、遠足
冬:クリスマス会、凧揚げ、ナリムチ、節分

年長さんはお泊り療育、奄美ならではの染め物体験、陶芸活動なども取り入れています

